

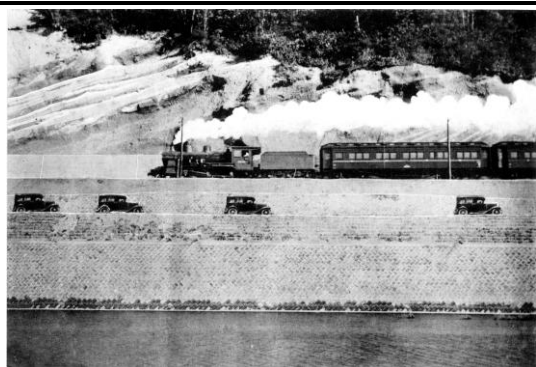
第13章 年 表



明治 44 年 栗山駅構内の蒸気機関車



大正 12 年 泉麟太郎翁銅像除幕式



昭和 7 年 国道 234 号線開通



平成 30 年 角田獅子舞「かがり火舞」

略 史

明 治

- 21年 宮城県角田藩士泉麟太郎、夕張開墾起業組合を設立。アノロ川右岸現角田に24名入植。
- 23年 角田村と村名公称。
- 24年 角田教授場の公設認可。子弟約50名。
- 25年 北海道炭鉱鉄道、室蘭線開通。(室蘭～岩見沢)
- 28年 角田村水利組合設立。
- 30年 角田小学校栗山分校認可開校。
- 31年 夕張川大洪水。溺死82名、流失家屋92戸、橋流失36、被害農家690戸、農産物の収穫殆ど皆無。
- 32年 雨煙別小学校開校。
- 33年 角田村戸長役場設置。初代戸長則武鉄蕉氏。
- 34年 夕張川に馬追橋竣工。
- 35年 2級町村制実施。初代村長則武鉄蕉氏。
- 40年 1級村制実施。初代村長泉麟太郎氏。
- 44年 角田消防組公設許可。
- 45年 栗山市街に電話開通。

大 正

- 2年 低温と暴風雨で未曾有の大凶作、収穫皆無。
- 3年 チフス流行、隔離病舎建設。
- 6年 中越懇話会貯金会設立。(農協の前身)
- 7年 開村30年記念式典挙行。
- 8年 栗山、角田市街に電灯がつく。
- 9年 第1回国勢調査、人口15,406人。
- 12年 栗山卸売市場開設認可。
- 15年 夕張鉄道、栗山～夕張間落成。

昭 和

- 3年 栗山商工会結成。
- 10年 字名、字界、地番、行政区を改正実施。
- 15年 肥料統制始まる。
- 17年 角田村森林組合設立認可。

- 22年 地方自治法による地方選挙実施、初の公選村長に藤田佐一氏当選。
- 23年 村立栗山高等女学校を道に移管、道立栗山高等学校となる。
- 24年 町制施行。栗山町と改名。
- 27年 栗山町立病院開院。
- 28年 農林省より新農村建設計画の町指定を受ける。(北海道で最初)
- 29年 町立病院を日赤に移管。栗山赤十字病院となる。
- 30年 栗山上水道認可着工。
- 32年 栗山消防本部及び望楼竣工。
- 33年 文部省より体育モデル町に指定される。栗山上水道竣工通水開始。
- 34年 名誉町民条例制定。
- 36年 継立簡易水道竣工。
- 37年 町立養老院泉徳園開園。
- 38年 町役場庁舎角田から栗山へ移庁。
- 39年 泉麟太郎(昭和4年没)小林米三郎(昭和43年没)松原武吉(昭和45年没)の各氏に名誉町民の称号を贈る。継立地区に水泳プール開設。日出地区簡易水道竣工。
- 40年 中里に町営プール完成。高速堆肥生産工場町営操業。栗小南に学校給食センター落成。
- 42年 栗山町優良自治体として自治法施行20周年記念表彰を受ける。
- 43年 東部地区簡易水道完成。青少年会館落成開設。栗山町開基 80 周年記念式典。
- 44年 栗山市街地域の字名地番改正。栗山統合中学校校舎完成。
- 45年 角田炭鉱株式会社新二岐鉱閉山。栗山総合グラウンド完成、空知初の2種陸上競技場に認可。
- 46年 夕張鉄道栗山-夕張間の旅客列車運行廃止。町営スキー場完成オープン。工業団地造成着手、用地買収協議成立。老人憩の家落成。
- 47年 南空知消防組合設立。
- 48年 栗山町土地開発公社設置。栗山高校移転新築工事完成。
- 49年 栗山公園展望台及び修景広場完成。夕張鉄道栗山-野幌間旅客列車休止。勤労者福祉センターオープン。
- 50年 夕張鉄道営業廃止。「一本木」道の記念保護樹木に指定。「不動の滝」が道の自然景観保護地区に指定。国道234号線バイパス完成。SLさようなら列車運行。
- 51年 第1回夏まつり開催。栗山公園テニスコート完成。栗山小学校改築。
- 52年 栗山町農村総合モデル事業農林省認可。土地開発公社初の宅地分譲開始。
- 53年 宮城県角田市と姉妹都市提携。町民憲章制定。町花に「ゆり」町木に「くり」決定。栗山町開基90周年町制施行30年記念式典。栗山町し尿処理施設改築工事完成(衛生センター)。消防庁舎旧栗小跡地に新築移転。
- 54年 御園小学校、南学田小学校に中間統合。泉記念館オープン。栗山公園なかよし動物園オープン。栗山公園グラウンドオープン。栗山赤十字病院改築。
- 55年 スポーツセンターオープン。農村環境改善センターオープン。栗山公園(全体)オープン(昭和48~55年)。

- 56年 南学田小学校閉校式。日出小学校閉校式。円山小学校閉校式。栗山第4統合小学校継立小学校新築工事完成。
- 57年 緑丘小学校閉校式、雨煙別小学校に統合。滝下小学校閉校式、継立小学校に統合。
- 58年 栗山ダム建設着工。栗山赤十字病院に産婦人科開設。栗山駅貨物・手荷物取扱全面廃止。4年連続の冷害に見舞われる。
- 59年 栗山駅、簡易委託駅に。道道栗山恵庭線(長沼通り)立体交差工事竣工(アンダーパス)。継立中学校改築工事竣工。
- 60年 栗山高校定時制普通科閉科式。札幌間高速バス運行開始。国蝶オオムラサキ発見。栗山水泳プールオープン。
- 61年 南部公民館(南部地区町民センター)オープン。角田小学校増改築。御大師山火まつり始まる。
- 62年 桜山小学校閉校式。特別養護老人ホームくりのさとオープン。彫刻家米坂ヒデノリ氏栗山へ移住。
- 63年 栗山町立北海道介護福祉学校開校。図書館オープン。桜山自然の家オープン。大相撲“栗山場所”開催。栗山町開拓記念館オープン栗山町開基100年町制施行40年記念式典。開基100年記念モニュメント「呼ぶ」完成。

平成

- 元年 栗山町立北海道介護福祉学校新校舎竣工。第1回全道雪上仮装ダイビング大会開催。継立小学校プールオープン。
- 2年 町営バス運行開始。栗山町下水道管理センター完成及び栗山地区一部供用開始。社会福祉法人札幌養育会ノビログループホーム完成。ふれあいプラザオープン。
- 3年 介護福祉学校学生寮完成。角田水泳プールオープン。学校給食センター新施設完成。泉徳園新施設完成開園。角田地区農業集落排水処理場完成一部供用開始。角田小学校開校100周年記念式典。
- 4年 公営住宅松風団地新築完成(平成3～4年)。デイサービスセンター完成、利用開始。栗山町環境センター竣工(桜山新ごみ処理場)。ファーブルの森観察飼育舎オープン。生ごみの分別収集開始。
- 5年 児童センターオープン。栗山町農業情報システム(KISS)完成。継立テニスコートオープン。朝日ふれあい公園完成。「坂本九思い出記念館」オープン。栗山公園さわやかトイレ完成。老人保健施設「ガーデンハウスくりやま」開設。冷夏により作況指数22の大被害となる。
- 6年 図書館コンピューターシステム導入。栗山ダム完成(水道飲料水取水)。NTT 栗山営業所・札幌統計情報事務所栗山出張所閉所。桜山浄水場完成。
- 7年 役場庁舎増築完成。ふじスポーツ広場オープン。栗山ダムパークゴルフコースオープン。
- 8年 開拓記念公園オープン。空知支庁南部耕地出張所新築移転。総合福祉センター「しゃるる」オープン。栗山総合行政情報システム(住民記録業務ほか)導入。
- 9年 杵臼小学校閉校式、記念碑除幕式。継立地区農業集落排水処理場完成、供用開始。

- 10年 雨煙別小学校閉校式。栗山町民球場オープン。栗山小学校開校100周年記念式典。栗山町開拓110年記念夕焼けコンサート開催。御園パークゴルフコースオープン。
- 11年 馬鈴しょ集出荷貯蔵センター竣工。資源物分別収集全町一斉スタート。北海道民話館開設。
- 12年 くりやまカルチャープラザ「Eki」オープン。W杯サッカー栗山合宿誘致委員会設立。農林水産省札幌食糧事務所栗山支所閉鎖。エコマネー(クリン)第1次・第2次試験流通。くりやま農業振興事務所開設。
- 13年 いきいき交流プラザオープン。ふじ交流センターオープン。
- 14年 公営住宅継立団地新築完成(平成13~14年)。地域イントラネット基盤施設整備事業完了。くりやま商工振興事務所開設。元プロ野球選手栗山英樹氏の野球グラウンド「栗の樹ファーム」オープン。ハサンベツ里山計画ビジターセンターオープン。エコマネー本格流通開始。第1回地域通貨国際会議 in Kuriyama開催。住基ネット第1次サービス開始。
- 15年 南部地区在宅介護支援センター開設。堆肥化施設運用開始。栗山高等学校新校舎完成、授業開始。「泉記念館」茅葺屋根を52年ぶりに修復。低温・日照不足により冷害となる(作況指数75)。公営住宅角田団地新築完成。
- 16年 夕張川河畔広場オープン。市外局番が01237より0123に変わる。台風18号の強風により農林業に被害、図書館前の開拓記念木の柳が倒木。財団法人栗山町農業振興公社設立。
- 17年 栗由大橋開通。栗山赤十字病院人工透析センター完成。
- 18年 小林酒造株式会社の一番蔵から六番蔵など13棟の建造物が国の登録有形文化財に登指定。町議会基本条例制定(全国初)。札幌法務局空知南出張所廃止。
- 19年 町立栗山保育所閉所(民営化移行)。天皇后両陛下御来町。栗山市街地において、光通信Bフレッツ利用開始。公営住宅ふじ団地16戸新築(平成5~11年・19年)。
- 20年 まちの駅「栗夢プラザ」オープン。町と(財)コカ・コーラ教育環境財団、NPO法人雨煙別小学校との間で雨煙別小学校再生プロジェクト協定締結。栗山町中央公民館閉館。栗山町開拓120年町制施行60年記念式典。
- 21年 栗山町まちづくり100人委員会設立。栗山町と由仁町の農業協同組合が合併し、そらち南農業協同組合設立。
- 22年 養護老人ホーム泉徳園・デイサービスセンター民営移行。「北のくりやま栗づくり協議会」発足、栗の木プロジェクト本格的に始動。「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」本格オープン。
- 23年 炭化処理施設導入、炭にできるごみの回収スタート。役場庁舎へのダイヤルインスタート。戸籍電算化システム稼働。
- 24年 栗山町立角田保育所閉所。デマンドバス(町営バス)が本格的運行。いきいき交流プラザがケアラーズカフェ「サンタの笑顔」としてオープン。北海道日本ハムファイターズ栗山監督パリーグ優勝パレード。ふるさと応援寄附にお礼の品発送開始。
- 25年 栗山町自治基本条例施行。栗山ダムパークゴルフコース27ホールから36ホールとなりオープン。栗山町景観条例施行。栗山町立継立中学校閉校式。
- 26年 栗山町立継立保育所閉所(民営化移行)。栗山中学校と継立中学校を統合。大雨特別警報発令。炭化処理施設を廃止。公営住宅どうえい団地新築完成。

- 27年 栗山町第6次総合計画スタート。栗山町地域おこし協力隊委嘱(1期目7人)。地域密着型特別養護老人ホーム「くりのさと彩」完成。社会福祉法人水の会養護老人ホーム「一草庵」完成。子ども医療費助成の対象年齢を拡大(18歳に到達する年度末まで)。子育て支援センター「スキップ」が旧法務局空知南出張所跡に移転オープン。道央廃棄物処理組合へ正式加入。公営住宅曙団地新築完成。
- 28年 コミュニティ・スクールスタート。継立地区農業集落排水施設を公共下水道に統合。栗山町コミュニティバス(くるりん号)本格運行開始。北海道日本ハムファイターズ栗山監督日本一優勝パレード。
- 29年 「くりやまクリエイターズマーケット」オープン。マロンキッズ保育園・児童クラブ開設。「栗山町子ども健やか育み宣言」実施。栗山警察署と夕張警察署が統合し、栗山警察署に。
- 30年 角田獅子舞保存会の「かかり火舞」が26年の歴史に幕。北海道日本ハムファイターズ2018年栗山町応援大使に宮西尚生選手・浅間大基選手が就任。認定こども園「栗山めぐみこども園」開園。北海道胆振東部地震発生。栗山町開拓130年町制施行70年記念式典。ふるさといきものの里オオムラサキ館リニューアルオープン。

令和

- 元年 天皇陛下が即位、5月1日に「令和」へ改元。小林酒造酒蔵建物が「炭鉄港(たんでつこう)」として日本遺産に認定。栗山町スキー場廃止。
- 2年 新型コロナウイルスの感染拡大によりくりやま夏まつりや秋まつりなどのイベントが中止。まちなかレストラン「ヤムズキッチン」オープン。
- 3年 全国市町村では初となるケアラー推進条例が制定。ハサンベツ里山「里山の恵み交流館『納屋』」開設。北海道日本ハムファイターズの栗山英樹監督の勇退に伴う「栗さん感謝の集い」を開催。
- 4年 栗山高等学校女子野球同好会が設立。第1回くりやまハーフマラソン開催。福祉・介護分野における中核的人材養成に向けた高専一貫教育プログラム開発・実証事業開始。南空知消防組合設立50周年記念消防演習開催。公営住宅中央団地新築完成(2年～4年)。
- 5年 栗山町第7次総合計画スタート。栗山駅南交流拠点施設「栗山煉瓦倉庫くりふと」オープン。総合土地改良センターの設置。栗山高等学校女子硬式野球部が設立。栗山監督 WBC 優勝記念イベント(パレード)を開催。栗山英樹氏に町民栄誉賞授与。公営住宅継立西団地新築完成。
- 6年 コミュニティ放送局「エフエムくりやま」開局。「緊急告知 FM ラジオ」配布開始。北海道の地方公共団体では最初となる「ネイチャーポジティブ宣言」を表明。
- 7年 栗山赤十字病院の新病院竣工及び開院。「栗夢カード」及び「くりやまギフトカード」を廃止、「くりやまネイポジポカード」の運用開始。